

4. IR立地による効果

4. IR立地による効果

4-1. 観光振興・地域経済振興・公益還元

世界最高水準の成長型 I R の立地

期待効果

- ・ビジネス客やファミリー層の来訪者の増加
- ・訪日外国人の増加
- ・国際会議・大規模展示会開催の増加
- ・質の高い観光サービスの提供による1人あたり観光消費額の増加

様々な分野への波及効果

期待効果

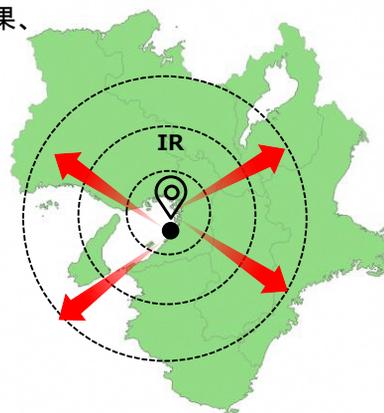
- ・来訪者の増加に伴う、モノやサービスへの幅広い新たな需要の増加による経済波及効果、雇用創出効果
- ・地元企業を中心に、様々な産業分野へのプラスの波及効果
- ・MICE推進による新たな産業の創出、産業の振興
- ・一大観光拠点・MICE拠点の形成により、大阪・関西における都市の魅力と国際競争力の向上に寄与
- ・IR区域への来訪者を各地に送り出すことにより、効果を相乗的に全国各地へ波及
- ・納付金・入場料等の増加に伴う行政サービスの充実

I R 立地による経済波及効果、雇用創出効果

- 大阪IRのめざす姿を踏まえ、初期投資や運営による経済波及効果、雇用創出効果を試算

経済波及効果(建設時)	1兆2,400億円
雇用創出効果(建設時)	7.5万人
経済波及効果(運営)	7,600億円/年
雇用創出効果(運営)	8.8万人/年

※近畿圏への経済波及効果



- ・開業初年度までに約2兆円(建設時:約1兆2,400億円+運営:約7,600億円)の経済波及効果が見込まれる
- ・また、IRの開業以降、毎年約7,600億円の経済波及効果が見込まれる

4-2. 地域の振興・発展

賑わいの創出

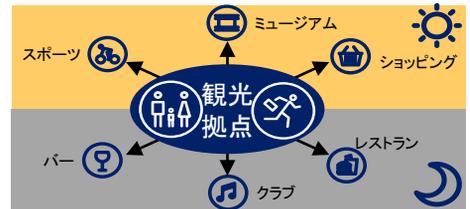
- 国内外のグルメやエンターテイメントなどを気軽に体験
 - ・ 世界の様々なグルメや世界水準のエンターテイメント、日本各地の魅力に触れられる施設などが充実することにより、都市の魅力や国際競争力が向上するとともに、あらゆる人が楽しむことのできる機会が増える
- 身近に「非日常」を感じることができる景観の創出
 - ・ 夢洲にしかない景観、夢洲でしか体験できない空間・デザインによるIRが実現することにより、都心から短時間で「非日常」を体験できる
- ナイトライフの充実
 - ・ IRにおける充実したナイトショーの開催などを契機として、周辺地域においても、ナイトライフのさらなる充実といった相乗効果が期待され、大阪におけるナイトタイムエコノミーの活性化につながる
- 都心で長期滞在できる機会の創出
 - ・ 世界水準のエンターテイメント施設をはじめ、レストランやショッピング、スポーツ観戦、ウェルネス関連施設など、魅力的な施設・サービスが充実することにより、長期に渡って滞在し、楽しむことができる
- ベイエリア開発の活性化に貢献
 - ・ IRを出発点として、ベイエリアの様々な開発が促進され、多くの人が集まり、輝く場所へとベイエリアが生まれ変わる
- 世界最高水準の受入環境の実現
 - ・ 宿泊環境、観光案内所、Wi-Fiなどのまちの受入環境が向上し、さらなる魅力の向上につながる



世界水準のエンターテイメント⁸⁶



ナイトクラブ⁸⁷



大阪観光案内所⁸⁸

雇用の拡大

- 雇用機会の増大
 - ・ エンターテイメントや食事、ショッピングを楽しめる施設、ホテル、MICE施設などが増えることにより、新たに働く場所が増える



雇用機会の増大

(参考：海外のIRにおける雇用者数)

・ リゾート・ワールド・セントーサ(シンガポール)	11,000人
・ シティセンター(ラスベガス)	12,000人
・ シティ・オブ・ドリームズ(マカオ)	約 8,000人

雇用の拡大

➤ 質の高い仕事の創出

- ・ これまでにない付加価値の高いサービスを提供するための質の高い雇用が創出される
- ・ 外国人向けサービスの開発、施設・店舗の多言語対応や情報発信等の新たなサービスを提供する雇用が創出される



➤ 多様な人材の活躍の場の拡大

- ・ 様々な新たな雇用が創出されることにより、女性・シニア層をはじめ、若者にも活躍の場が拡大されるとともに、多様な人材の育成に寄与する

➤ 来訪者の増加に伴うビジネスチャンスの拡大

- ・ 来訪者の増加に伴う大幅な需要の増加により、宿泊・飲食・運輸業など観光産業をはじめ、様々な分野でビジネスが拡大する
- ・ 既存産業においても、観光需要に視点を向けることにより、MICE関連のサプライヤーなど新たなビジネスチャンスが生まれる



➤ 地元企業を中心とした大きな波及効果の創出

- ・ IR事業者による地元企業からの継続的かつ大規模な調達が見込まれる
- ・ IR事業者によるビジネスマッチング機会の提供など、様々な形による地域経済の活性化が期待される

(参考：海外のIRにおける事例)

- ・ マリーナ・ベイ・サンズ(シンガポール)
 - ⇒ 地元企業から91%程度の購買[2015年]
- ・ リゾート・ワールド・セントーサ(シンガポール)
 - ⇒ 地元企業から84%程度の購買[2014年]
- ・ MGMマカオ(マカオ)
 - ⇒ 地元商工会議所等と連携して、ビジネスマッチングフォーラムを開催



地域経済の振興

4-2. 地域の振興・発展

地域 経済の 振興	<ul style="list-style-type: none">➤ <u>MICE拠点の形成による新産業の創出</u><ul style="list-style-type: none">・ 世界有数の国際会議や展示会が増加し、在阪企業も参画することで、新たなビジネスマッチングや異業種交流が促進され、イノベーションや新産業創出に寄与する・ 世界のビジネス交流拠点となることで、大阪・関西が強みを有する分野における企業の優れた製品が注目される・ 優秀な人材、グローバル人材が集まることにより、地元企業力が向上する
ギャンブル 等依存症 の抑制	<ul style="list-style-type: none">➤ <u>全国をリードする依存症対策のトップランナー</u><ul style="list-style-type: none">・ 世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的かつシームレスな取組み(大阪モデル)を構築することにより、既存の依存症者も含めて最小化させ、大阪が全国をリードする依存症対策のトップランナーとなることをめざす
安全・ 安心な まちの 実現	<ul style="list-style-type: none">➤ <u>さらなる安全・安心なまちへの貢献</u><ul style="list-style-type: none">・ IR事業者、警察、自治体が相互に連携し、良好な治安の確保や善良な地域風俗環境の保持を実現することにより、来訪者に安心して快適に大阪のまちを楽しんでもらうことができる・ 夢洲における消防署の設置をはじめ、IR事業者や関係機関と連携しながらソフト対策やハード対策に取り組むことにより、来訪者が安心して滞在することができる
地域への 貢献	<ul style="list-style-type: none">➤ <u>地域振興などに向けたIR事業者による支援</u><ul style="list-style-type: none">・ IR事業者がその収益を様々な形で地元自治体や地域へ還元することにより、さらなる地域の活性化が期待される <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>(参考：海外のIRにおける社会貢献の事例)</p><ul style="list-style-type: none">・ 地元で開催される地域振興イベントへの支援・ 非営利の芸術振興団体への支援・ 地域コミュニティに寄付するためのファンドの設立・ 大学生への奨学金の提供</div>

4-3. 関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果

各地への
相乗的な
効果

➤ 関西・西日本をはじめ、日本各地への集客効果の波及

- 世界と日本各地をつなぐ交流のハブとして、府内はもとより、関西・西日本・日本各地と連携を図り、魅力発信施設や送客施設などを効果的に活用することにより、IR立地に伴う集客効果を関西・西日本・日本各地へ相乗的に波及させることができる

関西・西日本・日本各地へ波及



➤ 多彩な交通アクセスの構築を誘発

- IRを核とした国際観光拠点の形成を契機として、より充実した広域交通ネットワークの形成に向け、鉄道・道路・海上交通などによる多彩な交通アクセスの構築が誘発される



(参考：想定されるアクセス)

- 鉄道各線の延伸
- 関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港の機能強化と連携の拡大
- 大阪湾内の高速艇や瀬戸内クルーズなど海路の整備

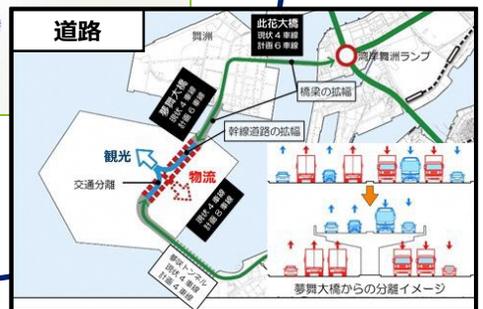
充実した
交通
ネット
ワークの
形成

岡山・広島
中国方面

香川・徳島
四国方面

滋賀・金沢
北陸方面

伊勢・
名古屋・
中部方面



4-4. 納付金・入場料等の活用

大阪府・市における納付金・入場料等の収入見込み (試算)

認定都道府県等納付金・入場料

700億円／年

うち納付金収入：570億円／年 (GGR[カジノ行為粗収益]の15%)
入場料収入：130億円／年 (日本人等に3,000円/回[24時間単位]を賦課)

※GGR(カジノ行為粗収益)…賭け金総額－顧客への払戻金
 ※日本人等…日本人や本邦内に住居を有する外国人

※別途、税金については 150億円／年 (大阪府:70億円/年、大阪市:80億円/年)

※税金…法人府・市民税、事業所税、固定資産税、都市計画税等の概算

納付金・入場料等の使途

○ 納付金の使途に関する国の考え方

- ・ 観光の振興に関する施策
- ・ 地域経済の振興に関する施策
- ・ 法の目的及び地方公共団体の責務を達成するための施策
- ・ 社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策

大阪における活用の基本的な考え方

➤ 住民福祉の増進、持続的な成長に向けて広く活用

(主な活用例)

- 子育て、教育環境の充実、住民の暮らしを守る福祉など **社会福祉の増進**
- **観光振興、文化芸術・スポーツの振興**
- 持続的な経済成長を促す **地域経済振興、産業創出への活用**
- 懸念事項を最小化するための **総合的な懸念事項対策への活用**
- 成長型IRの効果を最大限発揮するために必要となる **周辺地域環境整備への活用** など

